

令和7年度

飯塚東小  
学校通信

No.19

Hp : <https://www.city-iizuka.ed.jp/iizuka-higashi/>



# なかよく ともに

令和7年5月7日  
飯塚市立飯塚東小学校  
校長 松尾 史朗

SPIRIT OF HIGASHI!



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配付となります。児童用には教室には先生方が掲示していただいています。行事挿入号は必ず紙媒体でも配付いたします！】

飯塚警察署交通課 中川 敬大先生ありがとうございました。1年生と4年生が



自分の命を守るための安全な行動について学びました、



飯塚警察署交通課の中川敬大先生（中川巡査長様）からいただいた言葉は、「悲惨な事故を減らしたい。その一言です。」ときっぱりとおっしゃいました。

また、子ども達だけでなく大人の私達へのメッセージもあわせていただきました。「『だろろ運転』はしないでください。常に『かもしれない運転』を心がけてください。つまり、曲がり角から、人や自転車はとび出さないだろうではなく、曲がり角からとびだしてくるかもしれない。気を付けよう」と思うことが大切です。命がかかっていますし、一瞬の出来事ですので大人の方は反則金や処罰で終わって逆によかったと思ってください。とおっしゃいました。私もしょっちゅうお世話になっていますので注意力を高めて生きていこうと改めて勉強になりました。中川先生は学生時代は熊本県で「野球部」で活躍され、汗を流されていらっしたこと。社会人になって福岡県に来られて今、「剣道」に心技体を高めるためにご自分を鍛えられていること、そのほかにも様々なお勉強をされたりしていること。白バイ隊員としてもご活躍をされていること。

保育園や幼稚園から、小・中・高・大をはじめ大人の方にも交通安全教室を今後県民の皆さんの命と安全のために実践されていくこと、先日は、梶山智恵先生がいらっしゃる桂川東小学校でご指導されていたことなども私にお話ししてくださいました。4年生も1年生も2学年共に自分事として良く聴いてよく発表している姿が勇気を持った子が増えてきたなあと感心して見させていただきました。どうかこれからもご安全に……。よろしくお願いいたします。

(p.s.4年生学年主任の宮原浩美先生の「ヘルメットをちゃんと持っている人」のこどもたちへのご質問に対し、ほとんどのお子さんが挙手し、ヘルメットを持っていることから、保護者の方のお子さんへの愛情の深さと、安全への意識・関心の高さに大変敬服いたしました。子どもさんの命を守るために本当にありがとうございます。)

今、飯塚市内の中学生や高校生の先輩は自転車のマナーをはじめ、生活面等素晴らしいと地元でも評判です。先輩のいい所や頑張っているところをいっぱいマネしましょうね。

通学路  
交通安全  
も



ベコッと笑顔やおじぎで感心です。このあいさつできた勇気のある子はこの子自身にとって納得した、素晴らしい人生を送るのだろうなあ



のるのなら



ヘルメットを  
ちゃんと  
もっている  
も



手を挙げる勇気と逃げない勇気をいつまでも忘れないでくださいわ。



間もなく訪れる愛鳥週間にちなんで

「日本筑豊野鳥の会筑豊支部事務次長」の中村嘉一先生から「野鳥のはく製」を長期にわたって貸していただけることとなりました。



先日、本校区にお住まいの日本野鳥の会の中村嘉一先生から愛鳥週間（あいちょうしゅうかん）が近いこともあって、カワアイサ【カモ科：ユーラシア大陸中北部と北アメリカ北部で繁殖し、冬季はヨーロッパ、中央アジア、インド東部、中国東部、朝鮮半島、北アメリカ中部などに渡り越冬する。日本へは冬鳥として九州以北に渡来するが、北日本の方が渡来数が多い。北海道では留鳥として少数が繁殖している。】のオスのはく製とキジ【日本産の個体群ユーラシア大陸でも見られます。】のはく製と、ハチクマ？【鷹（タカ科：ハチクマはハチの巣を襲って食べる猛禽類で、日本には夏鳥として渡来します。】の計3羽のはく製

を長期にわたりお貸しくださること

となりました。中村嘉一先生は一人でも多く子ども達に野鳥に興味を持っていただきたいとおっしゃっていました。

なお、愛鳥週間は野鳥保護思想普及のために鳥類保護連絡協議会が設けた5月10日（土）から5月16日（金）までの一週間おこなわれます。バードウィークとも言います。中村嘉一先生は「人間万事塞翁が馬」という言葉を大切にされてあるそうです。確か、本校の江崎和彦先生もそうおっしゃっていました。（人生簡単に一喜一憂しないよう私も気を引き締めて生きていきます。）

掃除やメールボックスに集まったお友達を呼びかけますとはく製に興味をもって見学していました。飯塚警察署の地域安全活動推進委員であり、飯塚市のe マナビ指導者であり写真家でもいらっしゃる中村先生これからもご活躍を祈念いたしております。この度は3体で数十万もするであろうはく製を貸与していただきましてありがとうございました。子ども達に野鳥のたくましさや可憐さを感じてもらえたらいいなと思います。

p.s. 実は、恥ずかしながらわたしも隠れ野鳥の会のメンバーでした。探鳥会には約50年間で2回しか参加できておりませんのでもう除名されていることと思いますが、野鳥を愛する一人に変わりはありません。子育てが終わる9月には東南アジアへ渡るツバメや花の蜜を好むメジロ（ハワイにも分布）をはじめ、とても野鳥はかわいいものです。最近では、台湾や東南アジアから戻ってきた飯塚東小学校のまむし谷から鶯（ウグイス）の「ホー

ホケキョ」という鳴き声が出ていました。また、ホトトギスもまもなくアフリカあたりから渡ってくる季節です。

悲しみのない 自由な空へ 翼はためかせ 行きたい ..... 赤い鳥『翼をください』作詞：山上路夫